

2023年3月期 第3四半期 決算説明資料

2023年1月26日



証券コード：4461（東証プライム）
第一工業製薬株式会社

本日のアジェンダ



- 1. 2023年3月期 第3四半期 連結決算** **P.3**
- 2. 2023年3月期 業績見通し** **P.14**

1. 2023年3月期 第3四半期 連結決算のご説明

連結 業績の概要（前期比較）



増収減益：製品の価格転嫁が進み増収も、原材料価格の高騰が利益を圧迫

（単位：百万円）

	22/3月期 第3Q累計	23/3月期 第3Q累計	前期比増減	
			金額	増減率
売上高	46,697	49,098	2,401	5.1%
営業利益	3,725	988	△ 2,735	△73.5%
経常利益	3,290	1,079	△ 2,210	△67.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,860	△ 395	△ 2,255	—

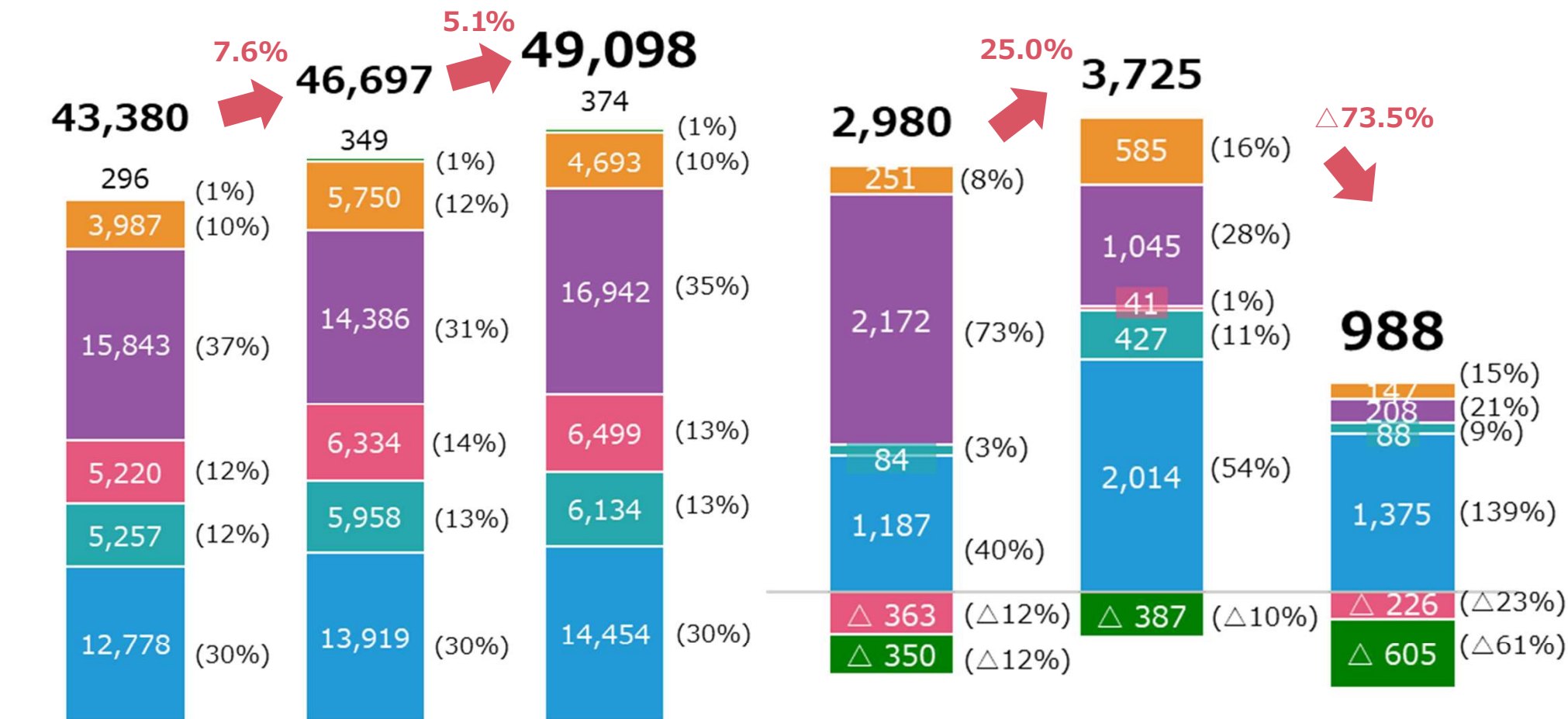
増収  **売上高**：海外向け難燃剤が大幅に伸長

減益  **営業利益**：原材料価格の高騰が価格転嫁を上回り減益、将来への投資となる研究開発費が増加

(): 構成比

売上高 (百万円)

営業利益 (百万円)

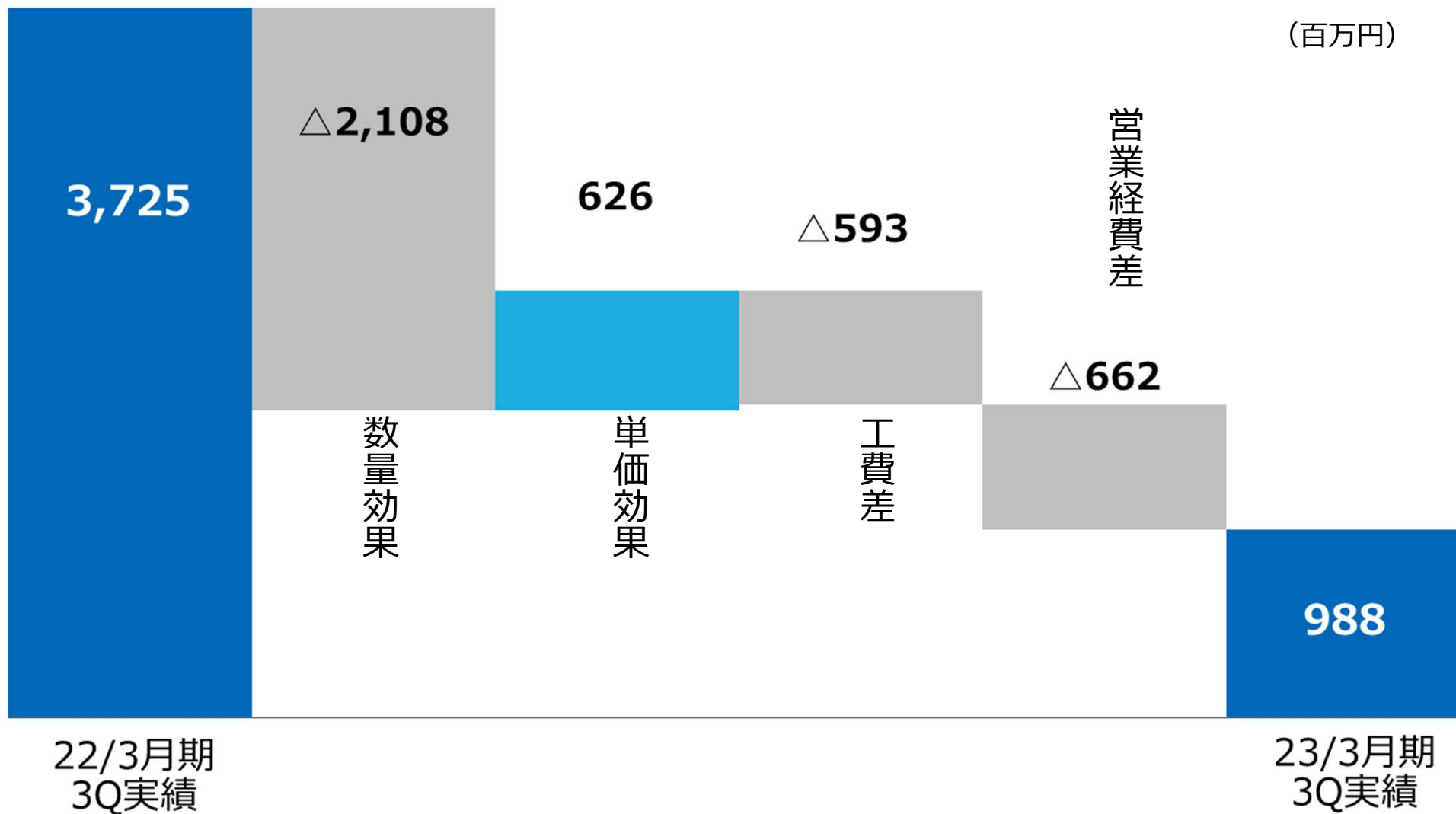


■ 界面活性剤 ■ アメニティ材料 ■ ウレタン材料 ■ 機能材料 ■ 電子デバイス材料 ■ ライフサイエンス

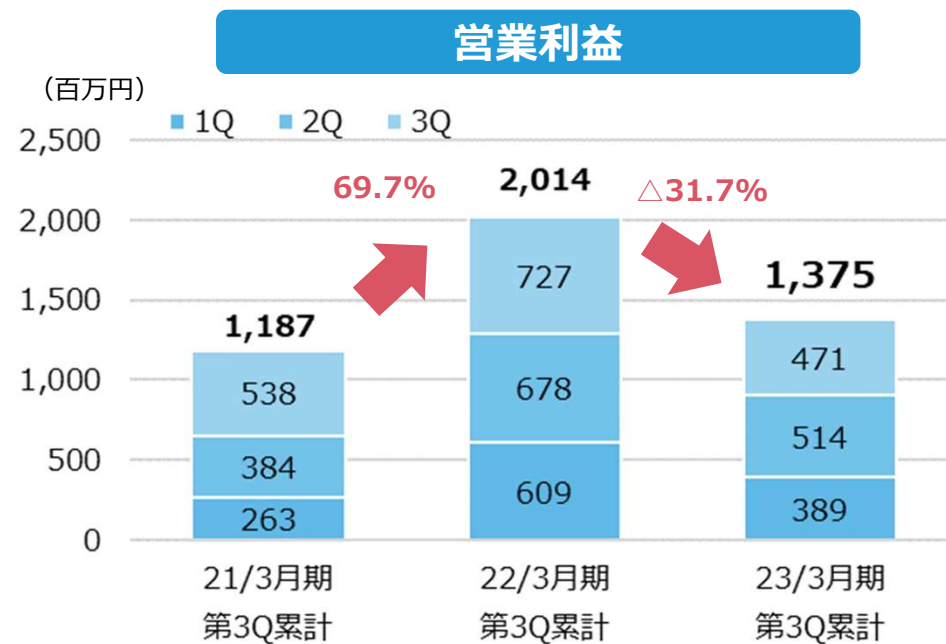
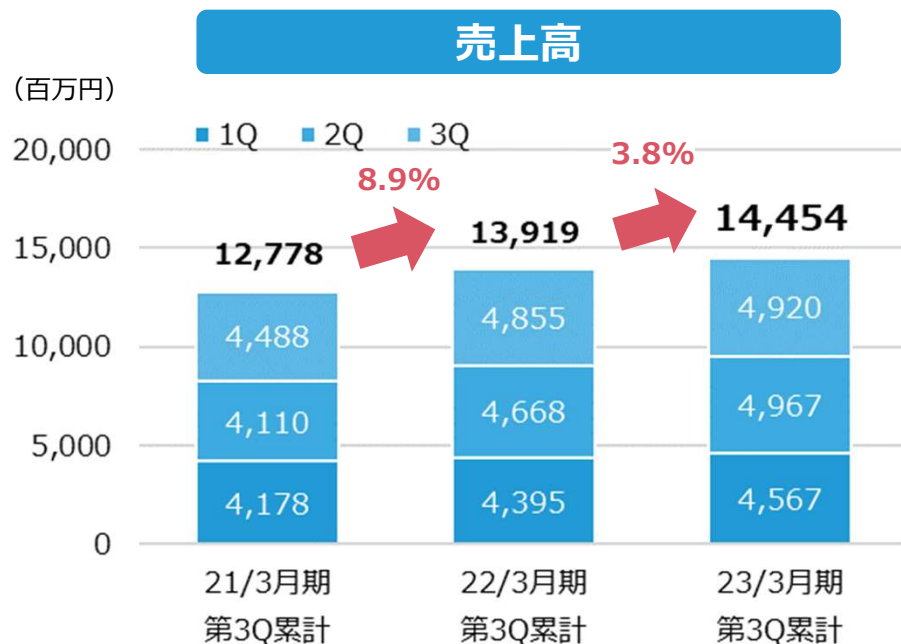
2023年3月期 第3四半期営業利益増減分析



* 界面活性剤、ウレタン、機能材料など販売数量減
 * 原材料価格の高騰による値上げ活動
 * 工場稼働率の低下による経費増加
 * 販売活動及び研究開発費などの増加



1909年の創業以来、高機能界面活性剤を提供している事業です。



売上高：総じて堅調に推移

- IT・電子材料用途：低調に推移
- 塗料・色材用途：低調に推移
- 機械・金属用途：堅調に推移
- 石けん・洗剤用途：大幅に伸長

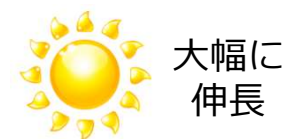
営業利益：減益

- 原材料価格の高騰による影響

IT・電子材料用途



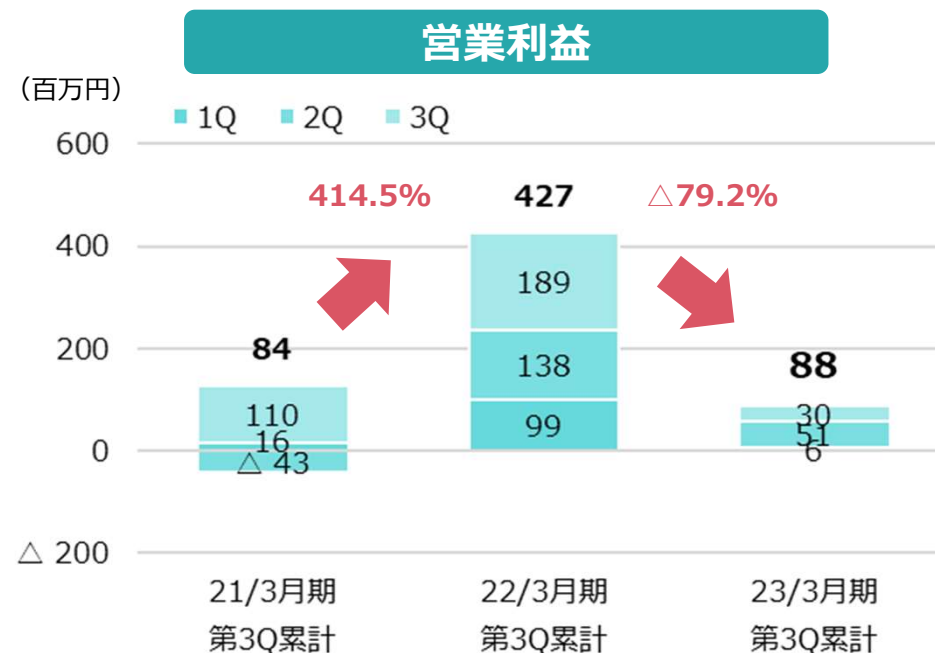
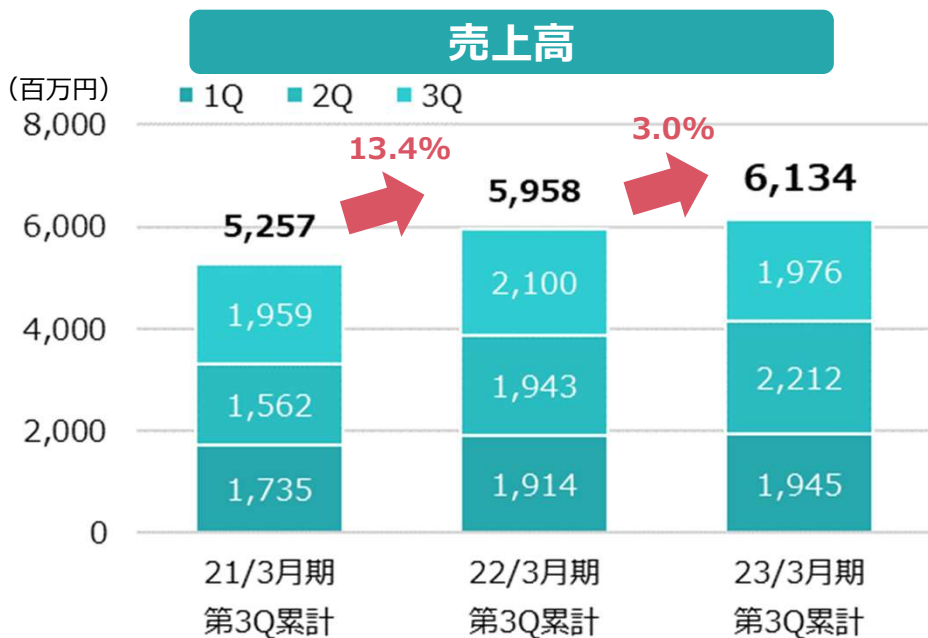
石けん・洗剤用途



塗料・色材



生活環境において快適性を求める材料や周辺応用技術を提供している事業です。



売上高：総じて堅調に推移

- 食品用途：シロ糖脂肪酸エステルは堅調
- 化粧品用途：シロ糖脂肪酸エステルは海外堅調
- I化粧品・環境用途：セルロース系高分子材料は低調に推移

営業利益：減益

- 原材料価格の高騰による影響
- 営業経費の増加

化粧品用途



食品用途



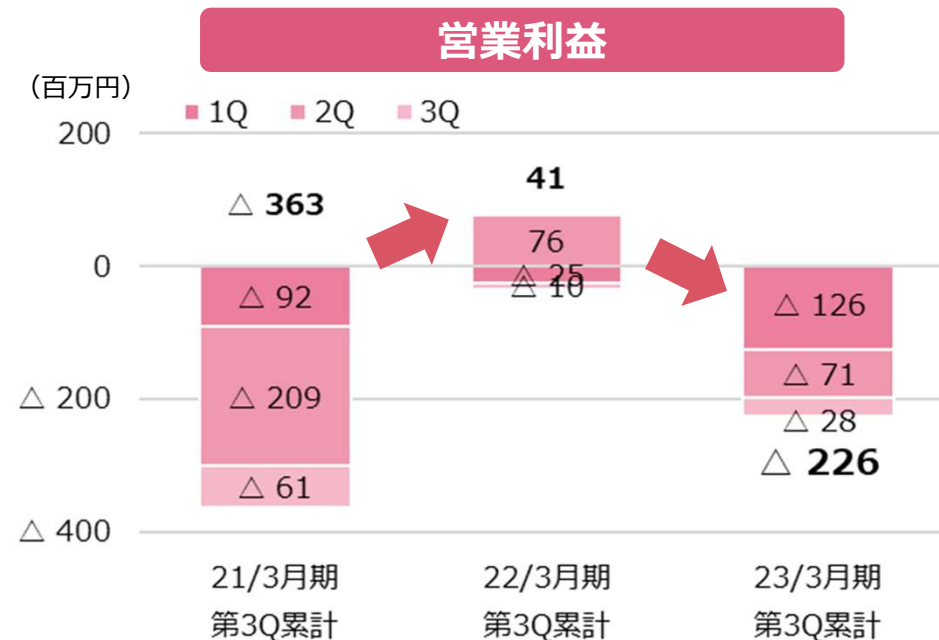
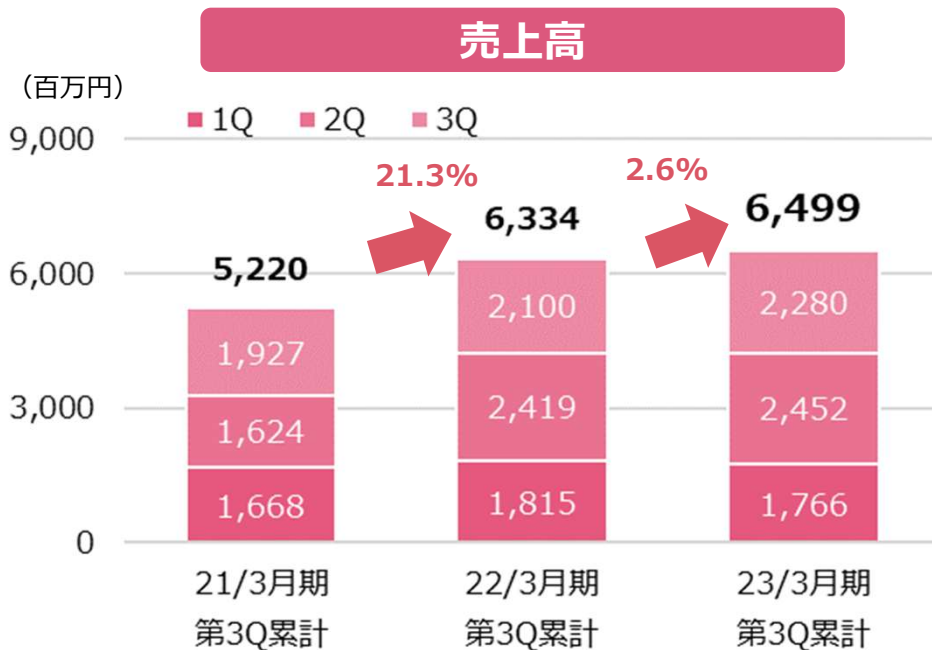
エネルギー用途



連結 セグメント業績 ウレタン材料



土木・建築材料、塗料、接着剤、電気絶縁材料などウレタン用原料を提供している事業です。



売上高：総じて堅調に推移

- IT・電子材料用途：堅調に推移
- 土木薬剤用途：大きく落ち込む
- 合成潤滑油：大幅に伸長

営業利益：営業損失

- 原材料価格の高騰による影響

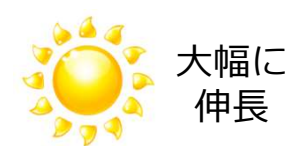
IT・電子材料用途



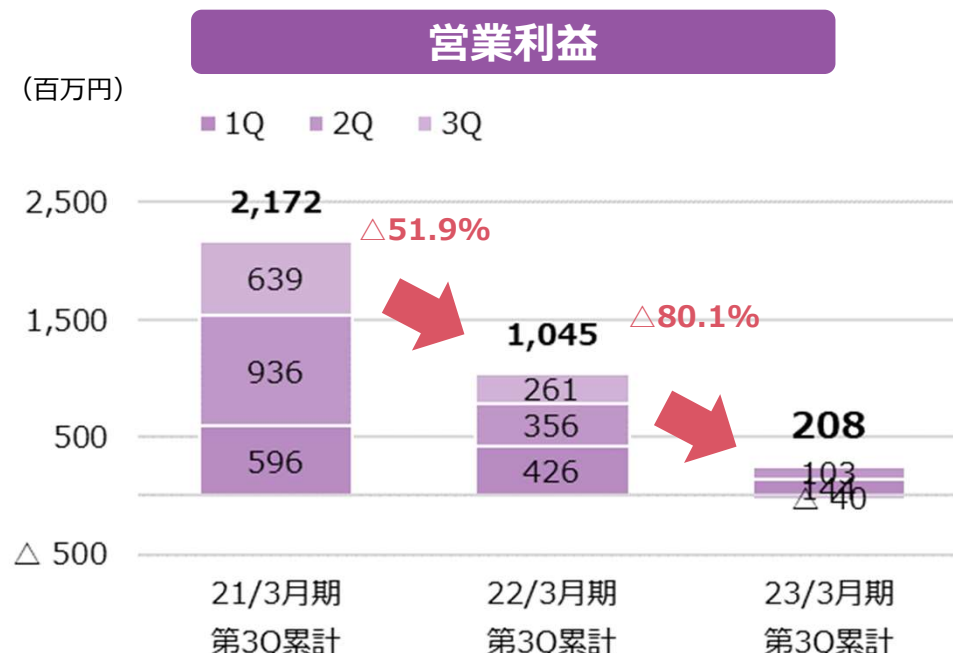
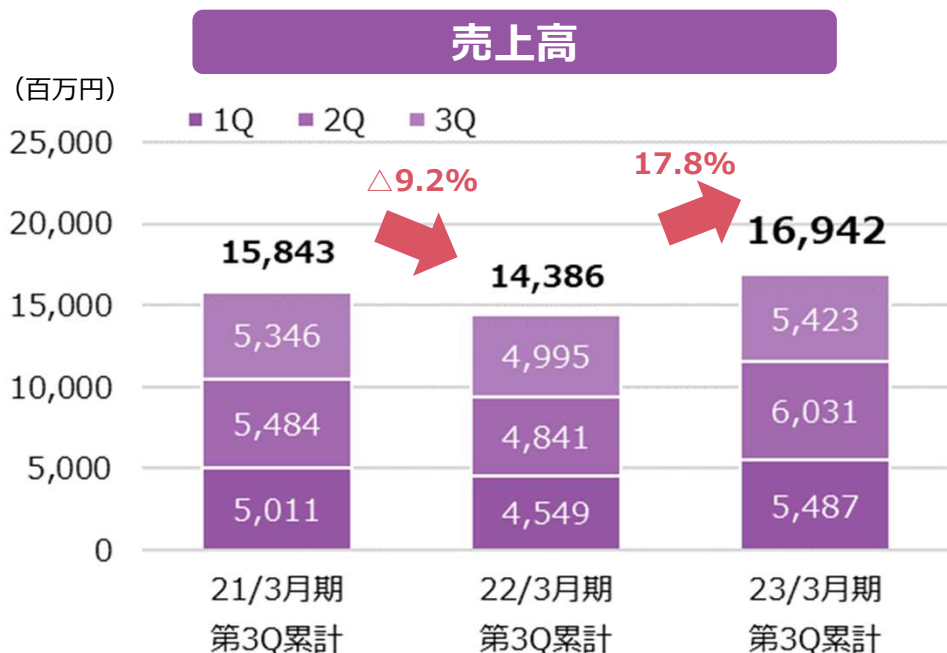
土木用薬剤:岩盤固結



合成潤滑油



家電製品や生活の必需品用途に、難燃剤、光硬化樹脂や水系ウレタン樹脂などの製品を提供している事業です。



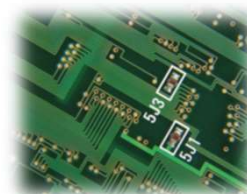
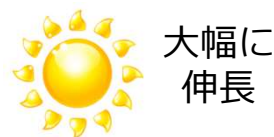
売上高：総じて大幅に伸長

- 電子材料用途：大幅に伸長
- ゴム・プラスチック用途：難燃剤は国内/海外ともに大幅に伸長

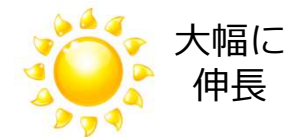
営業利益：減益

- 原材料価格の高騰による影響
- 研究開発費を中心に営業経費が増加

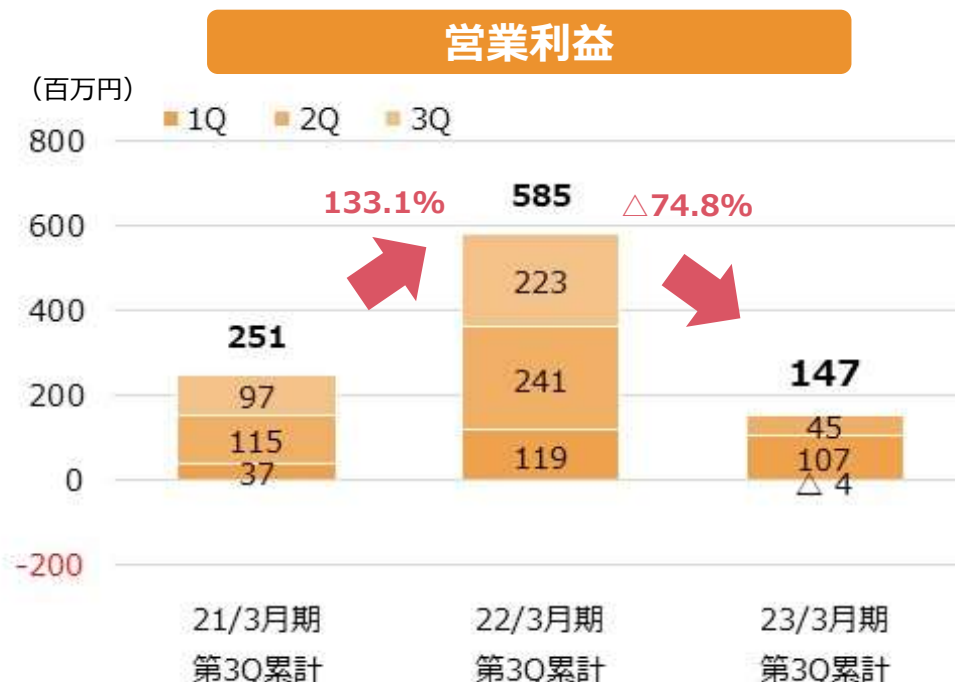
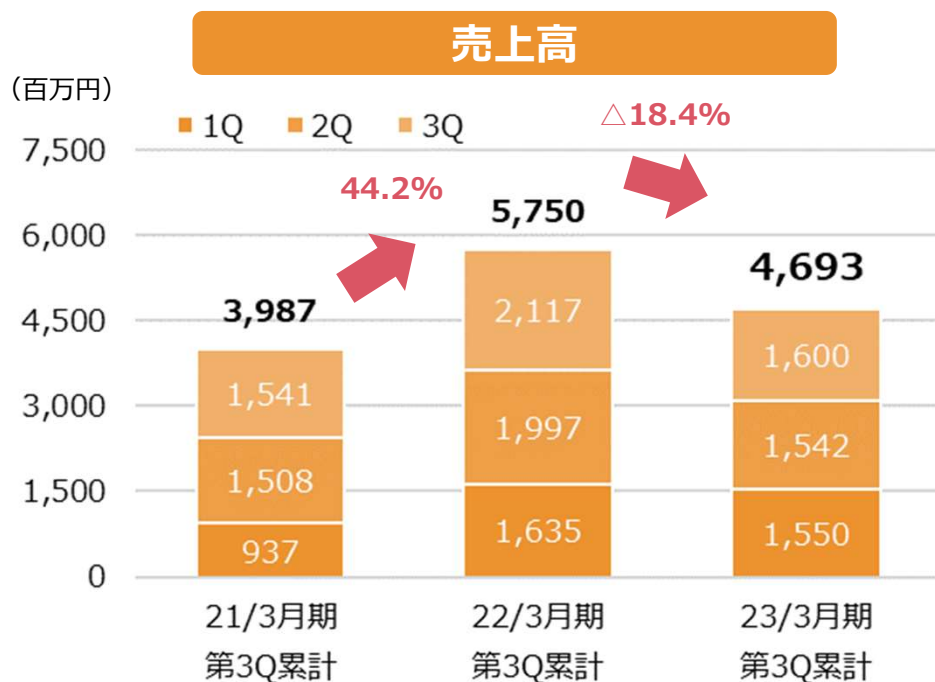
電子材料用途



プラスチック用難燃剤



家電や電子部品用途に、セラミックス材料などを提供している事業です。



売上高：総じて大きく落ち込む

- 太陽電池用途：導電性ペーストは大きく落ち込む
- ディ스플레이用途：イオン液体は大きく落ち込む

営業利益：減益

- 太陽電池用途、ディスプレイ用途の売上高が大きく落ち込む

太陽電池用途



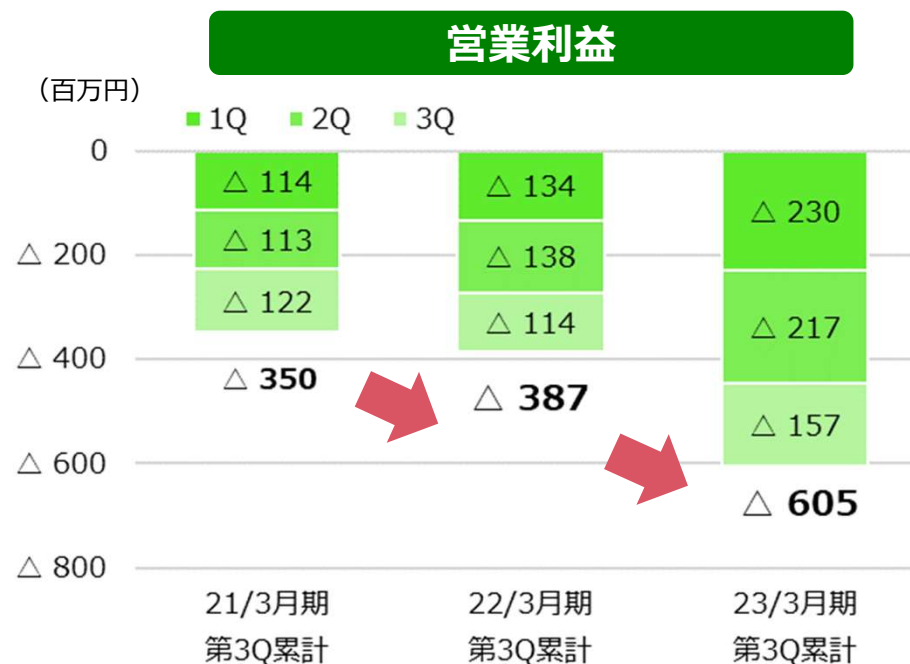
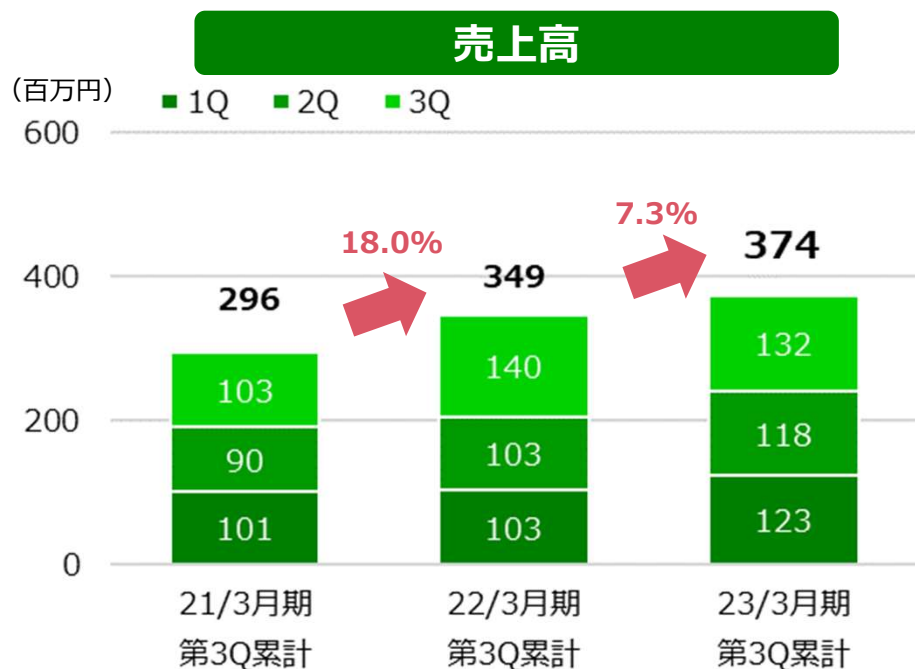
ディスプレイ用途



連結 セグメント業績 ライフサイエンス



天然由来の健康食品、天然物からの抽出・濃縮・粉末化の技術を提供している事業です。



売上高：前期と比べ25百万円増加

- カイコ冬虫夏草：堅調に推移
- 健康食品等の受託事業：堅調に推移

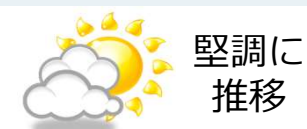
営業利益：営業損失

- 売上高は伸ばしたものの、営業経費が先行

冬虫夏草



健康食品等の受託事業



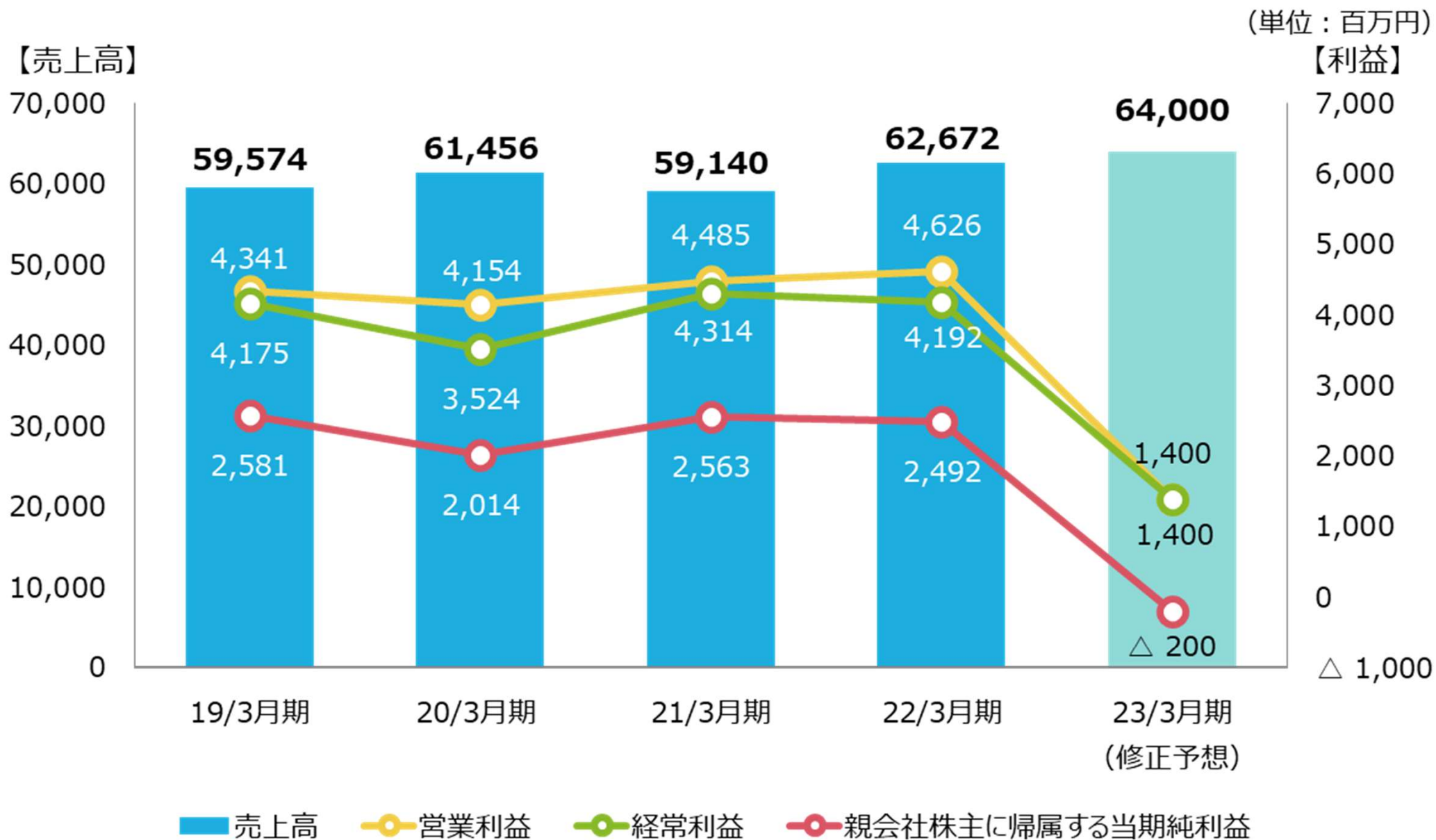
連結 連結比較貸借対照表の概要



(単位：百万円)




	2022年 3月末	2022年 12月末	増減額		2022年 3月末	2022年 12月末	増減額
流動資産	46,534	48,385	1,850	流動負債	21,726	23,489	1,762
現預金	12,224	8,333	△ 3,890	仕入債務	10,634	12,211	1,577
売上債権	16,492	19,760	3,268	有利子負債	7,269	7,593	323
棚卸資産	15,508	17,402	1,893	その他	3,822	3,685	△ 137
その他	2,308	2,888	579	固定負債	24,359	25,460	1,101
固定資産	39,935	39,483	△ 452	有利子負債	23,603	24,888	1,285
有形固定資産	33,358	32,721	△ 636	その他	755	571	△ 184
無形固定資産	618	342	△ 276	負債合計	46,086	48,949	2,863
投資・その他の資産	5,958	6,419	460	純資産	40,383	38,918	△ 1,465
合計	86,469	87,868	1,398	負債・純資産合計	86,469	87,868	1,398



2. 2023年3月期 業績見通し



連結 当社を取り巻く環境(市況)



分野	状況	2023年 3月期
自動車・二輪	半導体不足等の影響により、車両の生産が低調となり、多くの地域で納車までの期間が長期化。海外のコロナまん延状況や半導体不足解消状況にもよるが回復基調と予測。	
インフラ (5G)	基地局設置は想定通り進んでいない。半導体不足に加え、部材の価格高騰が継続。	
インフラ (リニア新幹線)	大型プロジェクトは、当社計画より遅延。	

分野	状況	2023年 3月期
ディスプレイ	半導体不足の影響とパネルの在庫過多により、回復の兆しがあるものの、引き続き低迷する見込み。	
家電・住宅建材 (難燃剤)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要用途の家電、AV機器の需要は半導体不足の影響を受け、下期は引き続き厳しい状況になる見込み。 ・ 薄型テレビ生産は、需要低迷で下期以降も急激に生産量が減少。 ・ 液晶パネル価格は、下落傾向。 ・ 国内住宅建材向け断熱材用途は、底を脱してきており下期は回復の見込み。 	

具体的な対策

- ① 確実な価格転嫁
- ② 高付加価値製品の拡販
- ③ 各種経費の削減
- ④ 大型特需の刈り取り
- ⑤ 原材料購入価格の圧縮

連結 セグメント別売上高予想



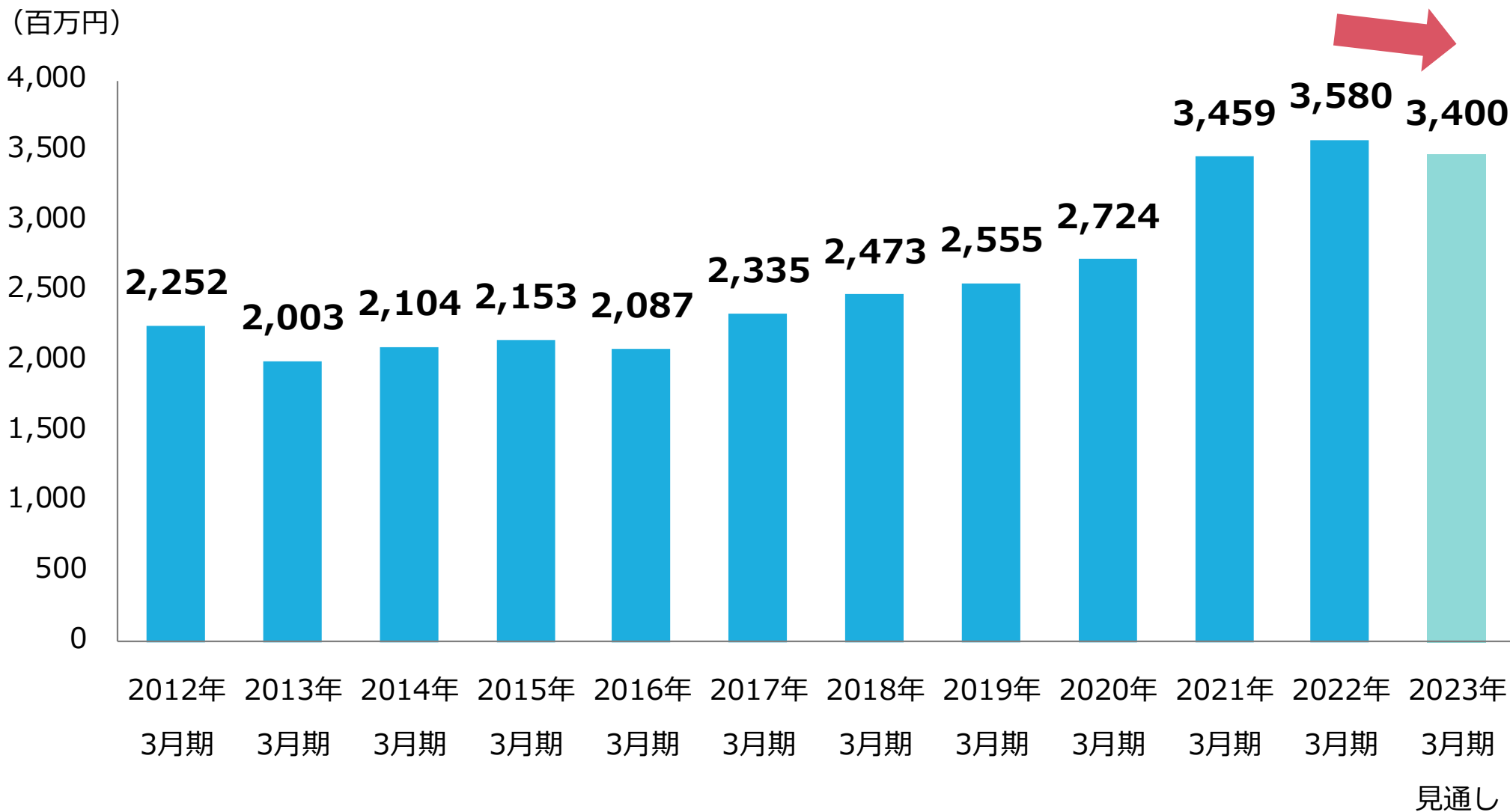
セグメント 単位：百万円	2022年3月期（実績）					2023年3月期（予想）					前期比増減	
	上半期	下半期		通期	構成比 （%）	上半期 （実績）	下半期		通期 （予想）	構成比 （%）	金額	増減率 （%）
		3 Q	4 Q				3 Q （実績）	4 Q （予想）				
界面活性剤	9,063	4,855	4,645	18,564	30	9,534	4,920	4,015	18,470	29	△ 94	△ 1
アメニティ材料	3,858	2,100	2,133	8,092	13	4,158	1,976	1,965	8,100	13	7	0
ウレタン材料	4,234	2,100	1,960	8,294	13	4,218	2,280	1,800	8,300	13	5	0
機能材料	9,391	4,995	5,541	19,928	32	11,518	5,423	5,557	22,500	35	2,571	13
電子デバイス材料	3,632	2,117	1,566	7,316	12	3,093	1,600	1,406	6,100	10	△ 1,216	△ 17
ライフサイエンス	207	140	128	476	1	242	132	155	530	1	53	11
合計	30,387	16,309	15,975	62,672	100	32,765	16,333	14,901	64,000	100	1,327	2

連結 セグメント別営業利益予想

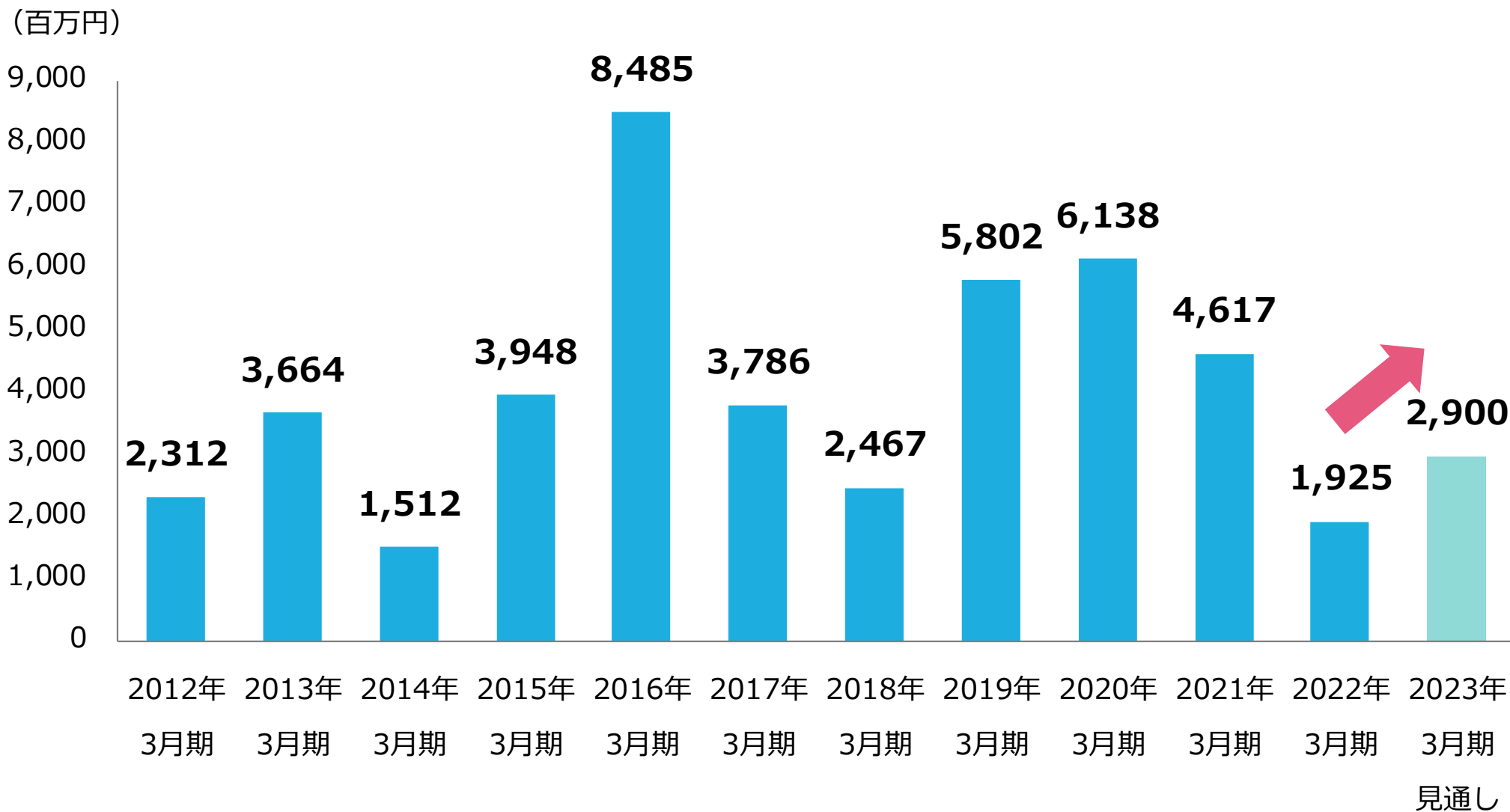


セグメント 単位：百万円	2022年3月期（実績）					2023年3月期（予想）					前期比増減	
	上半期	下半期		通期	構成比 （%）	上半期 （実績）	下半期		通期 （予想）	構成比 （%）	金額	増減率 （%）
		3 Q	4 Q				3 Q （実績）	4 Q （予想）				
界面活性剤	1,287	727	462	2,476	54	904	471	374	1,750	125	△ 726	△ 29
アメニティ材料	237	189	139	566	12	58	30	61	150	11	△ 416	△ 74
ウレタン材料	51	△ 10	13	55	1	△ 198	△ 28	△ 23	△ 250	-18	△ 305	△ 554
機能材料	783	261	310	1,355	29	248	△ 40	171	380	27	△ 975	△ 72
電子デバイス材料	361	223	130	715	15	152	△ 4	32	180	13	△ 535	△ 75
ライフサイエンス	△ 272	△ 114	△ 155	△ 543	-12	△ 448	△ 157	△ 204	△ 810	-58	△ 266	49
合計	2,447	1,277	900	4,626	100	717	271	411	1,400	100	△ 3,226	△ 70

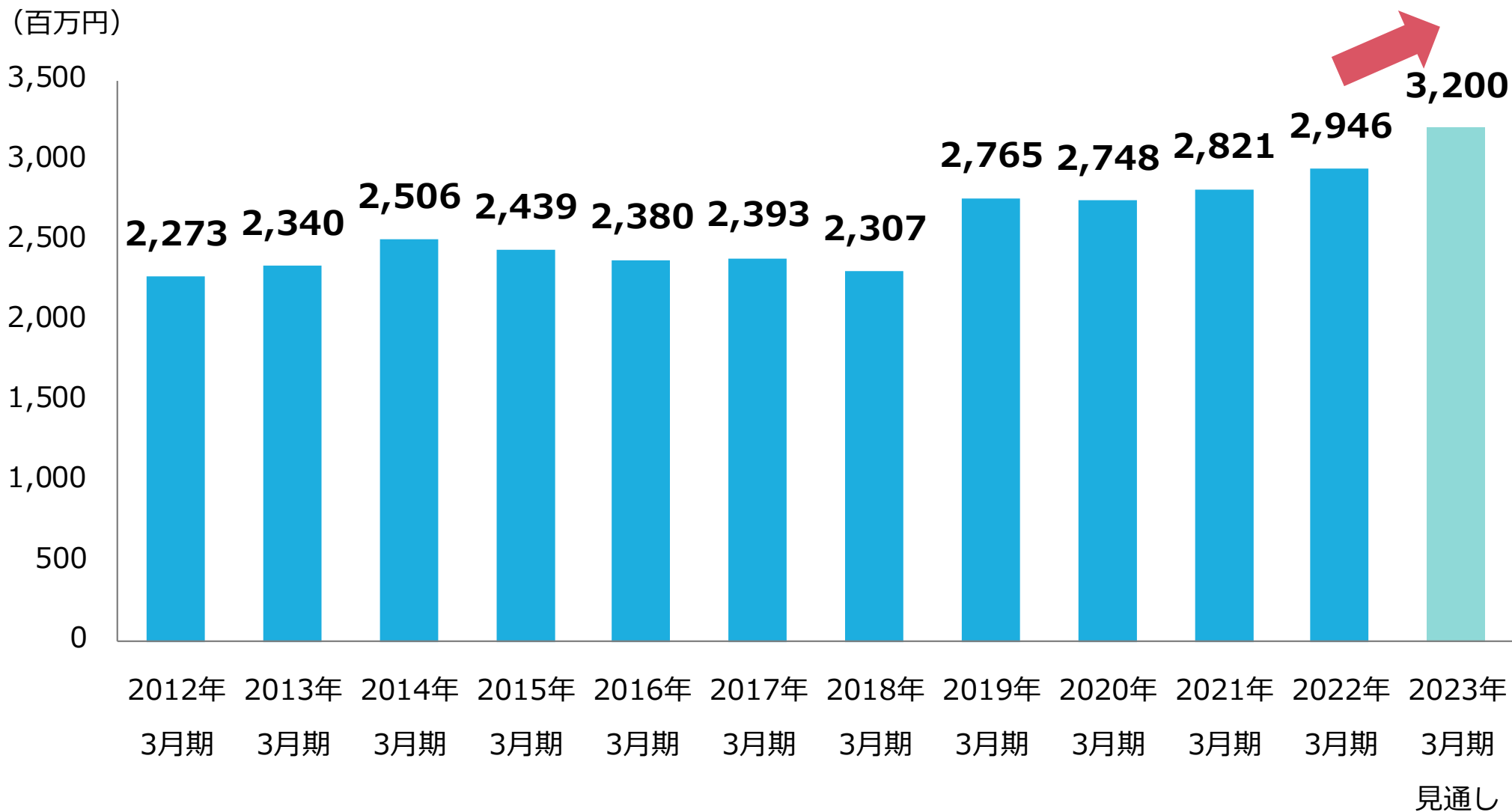
連結 減価償却費の推移



連結 設備投資額の推移



連結 研究開発費の推移



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。

それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画、予測したものであります。

実際の業績などは、今後のさまざまな条件、要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

第一工業製薬株式会社

広報IR室 IRグループ

TEL: 03-3275-0654 E-mail: d-ir@dks-web.co.jp